

高三学年通信



第 4 号
2016年 5月 2日発行
名古屋高校 3年学年会
<http://www.meigaku.ac.jp>
052-721-5276

考えさせられることとは……

評論や随筆を読んでいると、『聖書』の一節に出会うことがあります。作家である曾野綾子の随筆にそれがありました。

わたしは、だれに対しても自由な者ですが、すべての人の奴隷になりました。…
(中略) …弱い人に対しては、弱い人になりました。弱い人を得るためです。すべての人に対してすべてのものになりました。何とかして何人かでも救うためです。福音のためなら、わたしはどんなことでもします。それは、わたしが福音に共にあずかる者となるためです。

コリントの信徒への手紙一 9章19節～23節

聖書に書かれた言葉などに、ふと目にとまるようになったのは、キリスト教に関わる学校に勤めていることも影響しているからでしょうか。今まで意識していなかったものが意識され、その理念がどのようなものであるのかを考えることは、実に楽しいものです(漢文で言うと「不亦楽乎」であり、「豈不樂哉」ですね)。

この箇所に書かれていることは、決して自分の心売って相手のご機嫌を取って信者を増やすようにしなさい、ということではないそうです。この当時、昔ながらの形式や禁忌を重んじる正統ユダヤ教と、イエスの死後初めてキリスト教と呼ばれる新しい信仰を得て、いわゆる異教徒の中で福音を伝え述べる運命にあった新キリスト教徒とのせめぎ合いがあったと言います。その中において、自分がまず頑迷であって人を許さないようなことではいけない。他者の幸福を自分も喜び、他者の不幸を共に泣く姿勢でなければならぬ、という基本姿勢を聖パウロは説いたということだそうです。

グローバル化が叫ばれる中、確固たるアイデンティティの確立が求められる傾向にあります。むろん、それは間違っていないでしょう。しかしながら、その中においてもなお、自分とは異なる他者の理解、他者の意見・主張を認めていく姿勢は、これからはますます尊重せねばならない、とも思います。他者の意見を、おおよそ受け入れられないと思うこともあるでしょう。しかし、その時にこそ、上の聖書の箇所を思い起こしてほしいのです。

受験生である君たちにも、勉強のこと、生活のこと、と様々な耳痛く感じる言葉があるかもしれません。古典において、「諫言」という言葉を習ったかと思えます。時には耳痛い発言も受け入れてこそ、人としてのグレードがステップアップしていくことになると思いませんか。

生活規律強調旬間です

本日 5/2(月)から 13日までが、生活規律強調旬間です。連休に入る前に、生活や身だしなみなどについて、今一度、意識を高めていきましょう。

カッターシャツの下の色シャツ、柄シャツ(ワンポイント以外)は、禁止です。アイデンティティを表面的な色シャツなどで誇示するよりも、皆と同じ制服を着てもなお、にじみあふれる内面の輝き(オーラの力(笑))を高めていくのはどうでしょうか。



読書のすすめ

今回お薦めするのは、二冊。南木佳士の「冬への順応(文春文庫)」と、辻村深月の「凍りのくじら(講談社文庫)」です。



南木佳士の方は、表題「ダイヤモンドダスト」よりも、そこに収められている「冬への順応」が、私としてはお気に入りです。高校生から、医学部生へ、そして、医者として…、高3の今、共感するところが多いのではないのでしょうか。辻村深月の「凍りのくじら」は、主人公は女の子ですが、思春期の思いもあいまって、グイグイと本の世界に引き込まれるのではないのでしょうか。ミステリー的要素もあって、楽しめる一冊です。



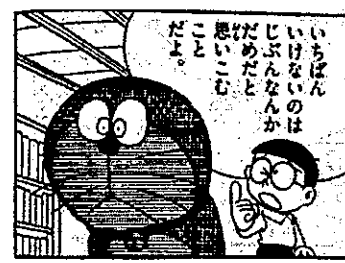
模試の活用をしていこう

高校3年生になって初めての模擬試験が終わりました。連休を過ぎるとあっという間に中間テストです。息つく暇もないと言ったところですが、模擬試験の活用をしっかりとしていきます。今回の模試は、高1～高2の復習要素が強いものです。



母集団が少ないため、偏差値や判定はあまり参考になりません。

何ができなかったのか、しっかり見定めて、6月のマーク模試に備えましょう。古文は「男色」という要素があったため、すこしばかり度肝を抜かれましたが、この4月において、そうした題材もあるのだという気づきができただけは感謝、といったところでしょうか。



今後の予定

- 5月
- 02日(月)生活規律強調旬間(～13日まで)
 - 16日(月)テスト前午前授業、PTAクラス委員総会
 - 17日(火)中間テスト(～20日まで)
- ※この時期に個人写真撮影(入学願書用の写真)
- 6月
- 09日(木)進研マーク模試(～10日まで)
 - 15日(水)芸術鑑賞
 - 27日(月)テスト前午前授業
 - 28日(火)期末テスト(～01日まで)

2016年4月26日

名古屋高等学校

学校法人 河合塾 中部営業部

「第1回マーク模試受験時の健康管理について（お願い）」

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて河合塾では、公開会場におきまして模擬試験を受験する生徒の皆様に、熱中症予防として以下の事項をご連絡いただきたくご案内させていただきます。

1. 熱中症予防のために、当日持参をお願いしていただきたいもの
飲み物（お茶・スポーツドリンク等）

2. 服装につきまして
冬の制服着用の場合、上着を脱ぐなど体温調節ができるような準備をお願いします。

3. 模擬試験会場で体調が悪化した場合について
状況により、試験本部員が随行し救急車にて病院に搬送した場合、保護者の方にお迎えをお願いすることがあります。

4. その他お願い事項
・受験票忘れがないように→試験開始遅れを防ぐため
・公共交通機関のご利用→試験開始に間に合わない事態を防ぐため

敬具